

2021年入試 日本大学芸術学部 一般選抜入試A方式第1期第2週目  
 学力試験解答例 (2021年2月16日実施)  
 (配点は当校の推定によるものです)

※2月16日に解答例速報として掲載した解答例を、日本大学公式発表を元に修正致しました。  
 英語は【Ⅲ】(18)にミスがありましたので訂正致します。※赤字で表記  
 また【Ⅰ】(1)【Ⅱ】(9)(10)(11)については昨年出題した英語試験問題(令和2年2月11日実施)と重複していた設問があることを確認し  
 たとして、受験者全員正解として扱われます。※青字で表記  
 国語は【Ⅱ】問5にミスがありましたので訂正致します。※赤字で表記

<英語>

【Ⅰ】配点:24点;各3点

(1) C (2) D (3) B (4) B  
 (5) C (6) A (7) A (8) C

【Ⅱ】配点:16点;各2点

(9) A (10) A (11) C (12) C  
 (13) C (14) B (15) D (16) D

【Ⅲ】配点:24点;各4点

(17) B (18) B (19) A (20) C (21) D (22) A

【Ⅳ】配点:18点;各3点

(23) B (24) A (25) D (26) A (27) C (28) B

【Ⅴ】配点:18点;各3点

(29) A (30) C (31) B (32) D (33) A (34) D

【短評】

大問数及び出題形式は例年通り。全体としては「標準」と思われる。  
 【Ⅰ】で語法問題、【Ⅱ】で短文の文脈から空所に入れる語を判断する問題が出題されている。基本的な語法・文法の知識と語彙力があれば解ける問題。  
 【Ⅲ】は長文読解問題で、【Ⅳ】はこれと共通するテーマに関する会話問題。伝統的な歌舞伎と初音ミクやロックミュージックのコラボの話題が提示され、伝統の中で現代文化を活かすという内容であった。本文の流れに沿って設問が付されているので、テンポよく解答できる。  
 【Ⅴ】は長文中の空所に適語を入れる問題で文脈を把握する能力が問われる。これはドキュメンタリーカメラマンの受賞に関する内容で、国際情勢について多少の知識がないとわかりにくいかもしれない。空所補充をするには、文脈把握力とともに基本的な文法力も必要だということを付記しておきたい。

<国語>

【Ⅰ】配点:25点;各5点

問一 1 問二 2 問三 3 問四 1 問五 4

【Ⅱ】配点:30点;問一～二 各2点、問三～七 各4点

問一-a 1 b 4 c 2 d 3 問二 3

問三 1 問四 4 問五 3 問六 4 問七 3

【Ⅲ】配点:29点;問一:各2点、問二:5点(完答)、問三～七:各4点

問一-A 3 B 4

問二-A 3 B 4 C 8 D 6

問三 4 問四 2 問五 2 問六 4 問七 3

【Ⅳ】配点:6点;問一:4点(完答)、問二:2点

問一-I 4 II 1 III 3 IV 2

問二 1

【Ⅴ】配点:10点;問一:各1点、問二:各2

問一-a 4 b 9 c 7 d 12

問二-a 1 b 3 c 2

【短評】

大問数及び出題形式は例年通り。全体の難易度は大問Ⅱの文章量の増加を踏まえ「やや難化」と思われる。  
 【Ⅰ】は文章量は昨年とほぼ同じ。設問数は減った。Ⅰ期1週目と比べ読みやすい文章であり、解答しやすかったと思われる。  
 【Ⅱ】は昨年より文章量が増加し、枝問も含めて設問数が増加。【Ⅰ】【Ⅱ】ともに空所補充問題の比重が多くなっている。  
 【Ⅲ】は「和泉式部日記」からの出題。文章内容がわかりにくく、特に冒頭部分を読み損なうと読解に時間がかかるだろう。文法と単語という基礎的知識をうまく活用させて解く設問が多い。  
 【Ⅳ】文学史【Ⅴ】国語常識問題は例年通りのレベル。ただ国語常識は出題内容が大きく変わりまとまった受験生も多かったと思われる。